

(生物多様性保全検討部会報告)

## 生物多様性保全検討部会における審議状況について

本環境審議会（令和元年7月30日開催）への諮問事項「次期『京都市生物多様性プラン』の策定について」の審議を行うため、今年度はこれまで、生物多様性保全検討部会を2回開催した。

### 1 第1回生物多様性保全検討部会

#### (1) 日時・場所、出席者

日 時	令和元年8月21日（水）午後2時～4時
場 所	京都市役所分庁舎4階 第4会議室
委 員	出席：湯本部長、足立委員、池本委員、板倉委員、田中委員、久山委員、伏見委員、森本委員
傍聴者等	傍聴者4名

#### (2) 議題

- 生物多様性保全に係るこれまでの経過と現状
- 次期「京都市生物多様性プラン」の策定に係る基本的な考え方

#### (3) 主な御意見

- 生物多様性の問題を解決していくためには、市民生活を変えるだけでは限界があり、社会のしくみを抜本的に変えていく必要がある。
- 京都の強みである社寺、祭事、文化を生かし、それらをきっかけに生物多様性の現状に目を向けてもらい、保全していく機運を作るべきである。
- 次期プランでは、目標設定、現状把握、評価の仕組みづくりまで踏み込む必要がある。
- 「アユの何%を京都産で賄う」、「大文字のアカマツは京都産を使用する」、「祇園祭の粽を京都産のチマキザサで賄う」など様々なゴールを具体的に設定してはどうか。
- 深泥池のジュンサイが増えすぎて問題になっている。このようなアンダーユース（利用不足）の問題にも対応していく必要がある。

## 2 第2回生物多様性保全検討部会

### (1) 日時・場所、出席者

日 時	令和元年11月14日（木）午前10時～12時
場 所	京都市役所分庁舎4階 第1会議室
委 員	出席：湯本部会長，足立委員，池本委員，石原委員，板倉委員，田中委員，久山委員，伏見委員，森本委員
傍聴者等	傍聴者1名

### (2) 議題

- 長期的ビジョン，2030年度目標，施策体系について
- 重点保全地域について

### (3) 主な御意見

- 生物多様性の問題を「自分ごと」とするには，生物多様性の危機感や切実感を共有していく必要がある。
- 京都にとって，生物多様性がいかに重要であるかを訴えていく必要がある。
- 長期的ビジョンは，行政が実現してくれるものではなく，一人ひとりが関わることで達成するものであることが伝わるようにするべきである。
- 里山の荒廃により，動物の生息域が都市に迫ってきているため，「里地・里山」と「市街地」などとのつながりについても考えるべきである。
- 山や川に出かけなくても，ごく近傍に緑があることが重要である。
- 公園などの公的な緑地は，例えば絶滅危惧種の域外保全を行ったり，集中豪雨による被害を軽減させたりするなど，かなりのポテンシャルがある。
- 例えば「景観を守る」，「文化を守る」，「産業をつくる・強化する」といった京都らしい戦略を立てられないだろうか。

## 3 今後の進め方と検討事項（予定）

日 程	会議名称	検討事項
令和元年度 1月31日（金）	令和元年度 第3回部会	○基本施策と進捗指標について ○各主体の役割 ○リーディング事業について
3月（予定）	令和元年度 第4回部会	○骨子案について ○推進体制と進行管理
令和2年度 7月（予定）	令和2年度 第1回部会	○次期「生物多様性プラン」答申案